



みよし みき

三好 美紀 准教授 博士(健康科学) 管理栄養士 大阪府八尾市出身

大学院健康科学研究科

保健・医療・福祉政策システム領域 国際地域栄養研究室



【担当科目】

公衆栄養学、地域栄養活動論、栄養アセスメント論、食事摂取基準論
公衆栄養学実習、公衆栄養学臨地実習Ⅰ・Ⅱ、総合演習ほか
(大学院)国際保健学、保健・医療・福祉学研究特論



【主な研究テーマ】

- ・地域における栄養評価と食生活支援に関する調査研究
- ・栄養転換期にある途上国支援に係る研究
(例:ラオス、ベトナム、パプアニューギニア)

【ゼミ生の卒業研究テーマ(2019年度～)】

- 在日外国人の(在日前後の)食生活、食環境および食意識、ボディイメージの変化
- 幼少期の食生活が現在の嗜好に及ぼす影響
- 過去の食習慣・生活習慣が現在の身体状況と健康意識に与える影響
- 飲食店経営者の食意識および健康意識と食環境整備状況との関連
- 大学入学前後の食事・生活習慣の変化と食知識・健康意識との関連
- 宮城県市町村における災害時用備蓄食の準備状況について
- 岩手県市町村における災害時栄養・食生活支援に対する準備状況
- 大学生の減塩調味料の使用状況及び減塩の効果について
- 病院における菜食の提供および菜食主義者への対応について
- 岩手県市町村の産後に関わる母子保健事業及び母子に対する食・栄養支援の現状について



【高校生へのメッセージ】

私が栄養士を目指したのは、中学生のときにNHKで放映されたアフリカの飢餓問題のドキュメンタリーがきっかけでした。皆さんも様々な理由で管理栄養士を目指し始めたと思います。

青森県立保健大学栄養学科で共に学んで、グローバルな視野を持って地域の健康・栄養問題に貢献できる管理栄養士を目指しませんか？

あせらず、あわてず、あきらめず

【プロフィール】

<学歴>

- 1994年3月 大阪市立大学生生活科学部食品栄養学科 卒業(学位:生活科学学士)
- 1996年3月 神戸大学大学院国際協力研究科国際開発政策専攻 修了(学位:経済学修士)
- 1999年6月 London School of Hygiene and Tropical Medicine 修了(学位:M.Phil.)
- 2011年4月 青森県立保健大学大学院健康科学研究科 博士後期課程 (学位:博士(健康科学))
- ～2015年3月 論文題目“Nutritional Status of Children and their Mothers, and its Determinants in Urban Capital and Rural Highland in Papua New Guinea”

<職歴>

- 1999年8月 国立国際医療センター研究所適正技術開発研究部プロジェクト評価研究室 流動研究員
- 2002年7/8月 JICA開発調査「セネガル国子どもの生活環境改善調査」短期専門家(保健・栄養)
- 2002年9月 東京大学大学院医学系研究科 国際保健学専攻 国際保健計画学教室 助手
- 2005年4月 独)国立健康・栄養研究所(現 医薬基盤・健康・栄養研究所国立健康・栄養研究所)にて 特別研究員(~H19.12)、研究員(~H23.3)、室長(~H30.3)として国際協力・連携事業を担当
- 2018年4月より現職

【所属学会】 日本国際保健医療学会、日本栄養改善学会、日本栄養・食糧学会、日本健康教育学会
日本公衆衛生学会、日本疫学会、The Nutrition Society(UK)

【社会活動】 (公社)日本栄養士会国際交流委員会委員、日本栄養改善学会国際活動推進委員会委員
第22回国際栄養学会(ICN2021)組織委員会委員および広報委員会副委員長
第8回アジア栄養士会議(ACD2022)プログラム委員会副委員長